



令和7年度 赤磐市障害者自立支援協議会(ピーチネットあかいわ) 全体会&研修会

令和7年6月26日 in 中央図書館



「全体会」



「研修会」 つながろうや～私たちにできること～



令和7年度の全体会を開催し、71名の方が参加されました。
全体会では、最初に前田市長よりご挨拶をいただいた後、令和6年度の事業報告及び決算、令和7年度の事業計画及び予算案、新役員の選出について提案し、承認されました。



参加者からの感想



- 災害時にどうすればよいのか。災害が起こる前から考えておくことを具体的に始めなければならないという気持ちを新たにさせてもらった。(当事者)
- 行政任せにしない。自助の大切さ。事前から助けて、と言える環境を(つながっておくこと)。(家族)
- 今回は支援の話が多く出て、トイレの件は日本は遅れているのだと思った。障害を持つ親として残念に思いました。(家族)
- 援助を受ける側にもプライドがある。(家族)
- 「受援力」支援を受ける側の思い、よく考える必要がありますね。避難訓練の大切さを改めて感じました(行政関係者)
- 準備や自分たちにできることを考える…とのことですが時間がないのでグループで活かせなかったのが残念でした。とても大事ですが、なにをどう準備したら…と不安もあるため具体的に示してもらったりグループワークできるといいかと思いました。(所属不明)
- 気づきを多くいただける内容だった。「受援力」など。(入所事業所職員)

<トークセッション「AMDAの活動から学び、行動しよう」>

①活動するにあたり心がけていることは何ですか？
②有事に備えてやっておくべきことは何ですか？



①エレガンス&タフネス(柔軟性と強さ)
本当の優しさは強さが無いといけない。
②それぞれ状況が違うが、日常できていないことは非常時にできない。
準備(自助)ができていないことは人災！
生きることをあきらめない、生きることは尊い、そのために自分たちが何ができるか…



<情報交換>



トークセッションを聞いて各自が「気づいたこと」「日頃思っていること」「大切だなと思ったこと」を本音で話し合い、自由に意見交換、情報交換しました。これからの活動に対して新たなアイデアや気づきを得ることができました。